



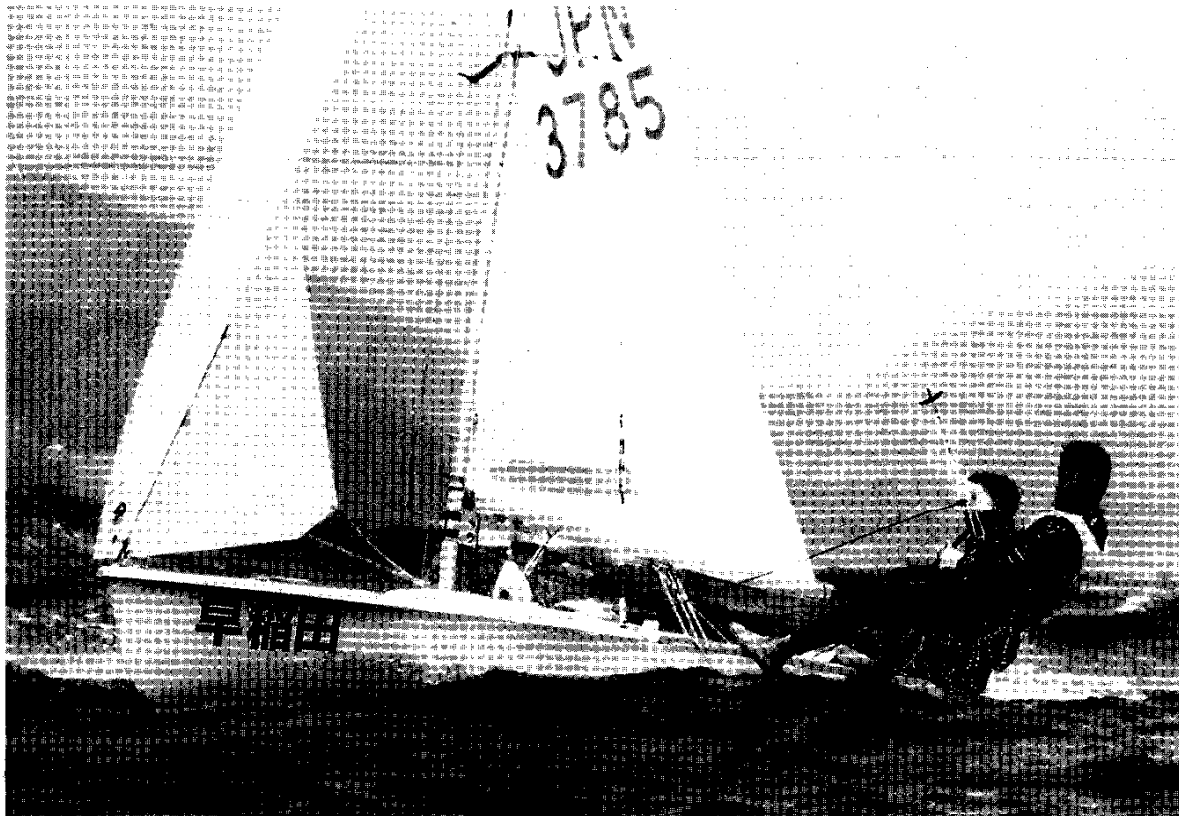
航 跡

題字 小澤信二郎 会長

第 3 5 号

早稲田ヨットクラブ
平成9年10月発行
発行者・事務局長 小野芳夫
編集・広報室 米田晴二 瀬川洋二

春のインカレ 470級 優勝 / 総合二位



1997年の春の関東インカレは、4月19日～5月4日まで森戸海岸沖で行われた。参加校はA組B組合わせて49校。予選期間は天候に恵まれ順調に日程を消化し、早稲田は470級2位、スナイブ級1位で決勝に進出した。春秋通じて11連覇中の日大を食い止められるかが焦点の決勝レースでは、荒れ模様の天候の中、470級で日大を追う早稲田が、第5レースで逆転に成功。第6レースでは、日大の1、2、7に対して、早稲田は3、4、6とがっぷり四つで首位を占めた。最終日、第7レースが無風ノーレースのため、そのまま優勝。スナイブ級は乱調をおこし7位。かくて総合2位であった。

決勝の順位は以下の通り。

〈470〉早稲田・日大・関東学院・法政・中央・神奈川・慶応・東京工大・立教・独協

〈スナイブ〉日人・東人・関東学院・法政・慶応・中央・早稲田・明治・駒沢・神奈川

尚、早稲田の470級優勝は94年春以来である。

1997年上半期レース成績

	470	スナイブ	総合
関東インカレ予選	2位	1位	
決勝	1位	7位	2位
早慶戦	勝	負	負
	4連覇は成らず。通算26勝30敗。		
同志社戦	勝	勝	勝
	久しぶりに二戸浜での勝利。		
五大学戦	1位	2位	1位
六大学戦	1位	1位	1位

全日本は10月31日～11月3日福岡県小戸で開催。

理事長就任にあたり

大原義昭 (昭53)



爽やかな季節になりました。
平素は早稲田ヨット部に、いろいろご支援賜りましてありがとうございます。

春3月の総会で理事長をおおせつかりまして以来、皆様のアドバイスや熱意あるご協力のもと、不慣れながらOBクラブの運営をして参りました。

今年の大学ヨット部は極めて充実しておりまして、春のインカレで470クラスが優勝を果たし、また、シーズンはじめから調整を続けておりましたスナイプクラスも秋に入って次第に調子をあげ、9月の5大学戦(早・日・慶・中・明)で1位、470が2位の総合優勝を果たしました。鈴木監督、小松コーチ、OB各コーチが、熱意ある指導をしており、11月の九州全日本インカレに向けて、物心両面の支援を続けたいと思っております。先輩におかれましても、是非お力添えを賜ります様、お願い申し上げます。

一方、来年以降に向けて、我がヨット部は困難な問題をいくつかかかえております。まず実技受講者の激減です。これはヨット部の運営資金源の減少を意味しておりまして、深刻な問題です。そこで、この問題を大学当局ともご相談して、来年以降の「魅力ある実技講習の内容」を提案いたします。

また、稲龍2世の問題があります。二年越しで検討を続けてきましたが、来年春までに新艇(中古になるかもしれませんが)を浮かべるために、鋭意具体策を練っております。25年前の日本一周のメンバーを中心に検討をはじめさせていただきます。

さらに重大な問題があります。体育局全体の問題なのですが、部員が少ないことです。これからいかにして部員を増やしていくか、学生だけでは解決できない問題が山積みしています。

秋のシーズンを前に、まず現場はインカレに頑張ってもらおう、そしてOBクラブは大学側と相談しながら新しい時代の学生ヨットの形を作っていきたい、と思っております。

皆様の積極的なご参加をお願い申し上げます。

～実技講習について～

大学の必修科目でなくなったため、選択する学生が減ってしまった。その対策として、

・「明るく」「楽しく」をモットーにカリキュラムの改善を考える。(「乗せてもらう」ではなく、「自分で操縦できる」ことを目指し、充実感をはかる)
・台風シーズンを考慮し、七月下旬(前期試験終了次第)の開催を検討。
などがあげられます。

とにかく、大学側と十分な話し合いをしていくことが必要。

本 部

理事長	大原義昭	S 53
理事長補佐	橋 滋夫	S 56
事務局長	小野芳夫	S 59
事務局長補佐	佐々木陽一	S 59
経理	戸枝隆也	S 59
監査	石川光男	S 42
講師	石井章夫	S 28
監督	鈴木光宏	S 63
総務	大興太郎	S 40
総務	石井 哲	S 41
総務	石合幸彦	S 42
総務	大矢木一	S 45
総務	福島洋二	S 46
総務	杉井謙治	S 48
総務	三塚正文	S 49
総務	藤井達也	S 50
総務	岩崎 誠	S 52
総務	白石裕之	S 55
総務	鎌田 等	S 58
総務	野原信弘	H 3
広報	瀬川洋二	S 60
広報	川原康嗣	H 1
広報	久保田悟	S 62
競技	小池充郎	S 57
競技	清水宏和	H 2
競技	矢口一馬	H 2
競技	星野祐介	H 4
競技	月岡秀介	H 7
競技	村山 崇	H 8
競技	田尾和久	H 9

支 部

東北	小山良仁	S 60
東北	石橋 顕	H 8
中部	喜多内悦郎	S 55
中部	黒田佳宏	S 59
中部	児玉芭晴	H 4
関西	森田朋愛	S 58
関西	坂東義之	S 59
中国	三好勝己	S 59
中国	国近則仁	H 2
九州	庄島政美	S 54
九州	入江 彰	S 61

～大型艇について～

至急、大学と協議をはじめ、購入に向けて動いていきたい。

～学生部員数～

	四年	三年	二年	一年	計
男子	7人	3人	5人	3人	18人
女子	2人	2人	0人	1人	5人
合計					23人

ご協力ありがとうございます

～今後もよろしく願います～

年会費	記念品	奉加帳	登録
H 9	田尾	1	○
H 9	大塚	1	○
H 9	池田	1	○
H 9	鈴木	1	○
H 9	柘植	1	○
H 9	福田	1	○
H 8	石橋	1.5	○
H 8	山岸	1	○
H 8	中島	1.5	○
H 8	吉峰	1.5	○
H 8	三浦	1	○
H 8	鎌田	1	○
H 8	村山	1	1
H 7	青木	1.5	○
H 7	古澤	1.5	○
H 7	北島	1	○
H 7	吉田	1	○
H 7	梶木	1	○
H 7	勝木	1	○
H 6	島山	1	1
H 6	永田	1.5	○
H 6	井上衣	1.5	○
H 6	岸井	1	○
H 5	阿部	1.5	○
H 5	高野瀬	1.5	○
H 5	東野	1.5	○
H 5	石井	1	○
H 5	今井	1	○
H 4	川島	1.5	○
H 4	石田	1	○
H 4	羽田	1	○
H 4	福沢	1	○
H 4	星野	1.5	○
H 4	原	1	1
H 3	野原	1.5	○
H 3	諏訪	1.5	○
H 3	藤原	1.5	○
H 3	田中	1.5	○
H 3	槐島	1.5	1
H 3	大濱	1.5	○
H 3	米	1.5	○
H 3	杉野	1.5	○
H 3	市川	1	○
H 2	清水	1.5	2
H 2	矢口	1.5	○
H 2	国近	1.5	○
H 2	天野	1.5	○
H 2	主藤	1.5	○
H 2	田沢	1.5	○
H 2	小川	1	1
H 2	堀米	1	○
H 1	川原	1.5	○
H 1	坂部	1.5	○
H 1	長谷川	1	○
H 1	牧	1.5	○
H 1	茂木	1.5	○
S 63	渡辺	1.5	○
S 63	鈴木	1.5	2
S 63	石井	1	1
S 62	小宮	1.5	1
S 62	新里	1.5	○
S 62	松下	1.5	○
S 62	岩田	1	○
S 62	久保田	1	○
S 61	入江	1	○
S 61	瀬戸	1.5	○
S 61	野本	1	○
S 61	若月	1	○
S 60	小山	1	○
S 60	梅原	1.5	○
S 59	佐々木	1.5	○
S 59	小野	1.5	1
S 59	市井	1	1
S 59	黒田	1.5	○
S 59	板東	1.5	○
S 59	三好	1.5	1
S 59	小田	1.5	○
S 58	鎌田	1	○
S 58	黒田	1.5	○
S 58	森田	1.5	○
S 58	渡辺	1.5	1.5
S 57	小池	1.5	○
S 57	長瀬	1.5	○
S 57	石渡	1.5	○
S 56	風間	1.5	○
S 56	中島	1.5	○
S 56	橋	1.5	1
S 56	長谷山	1.5	○
S 56	河瀬	1.5	○
S 56	香田	1	○
S 56	戸枝	1.5	2
S 56	地曳	1	○
S 55	白石	1.5	○
S 55	坂爪	1.5	○
S 55	喜多内	1.5	○
S 55	松原	1	○
S 54	小川	1.5	○
S 54	北川	1.5	○
S 54	松下	1.5	○
S 54	庄島	1	○
S 53	野口	1.5	○
S 53	渡辺	1.5	1
S 53	大原	1.5	2
S 53	橋本	1	○
S 52	川瀬	1.5	○
S 52	角田	1	○
S 51	大嶋	1.5	1
S 51	冬至	1	○
S 50	青木	1.5	○
S 50	近岡	1.5	○
S 50	藤井	1.5	○
S 49	井上	1.5	○
S 48	杉井	1.5	○
S 48	平戸	1.5	○
S 47	三宅	1.5	○
S 47	三枝	1.5	○
S 47	岩本	1	○
S 46	武藤	1.5	1
S 46	斑日	1.5	○
S 46	原田	1.5	○
S 46	菊池	1	○
S 46	藤田	1.5	○
S 46	福島	1.5	○
S 45	北嶋	1.5	○
S 45	大矢木	1.5	○
S 44	須藤	1.5	○
S 44	山本	1.5	○
S 44	山内	1	○
S 43	冬至	1.5	○
S 43	尾本	1	○
S 42	岡戸	1.5	○
S 42	石合	1.5	2
S 42	中村	1.5	○
S 42	原	1.5	○
S 42	石川	1.5	○
S 42	栗原	1.5	○
S 42	金刺	1.5	○
S 41	森	1.5	○
S 41	斎藤	1.5	○
S 41	滝	1.5	○
S 41	岡部	1.5	○
S 41	長沢	1.5	○
S 41	清水	1.5	○
S 41	江上	1.5	○
S 41	小濱	1.5	○
S 41	小坂	1.5	○
S 41	石井	1.5	○

S 41	後藤	1.5	○
S 41	頼	1	○
S 40	若松	1.5	○
S 40	守屋	1.5	○
S 40	大	1.5	○
S 40	木内	1.5	1.5
S 40	杉山	1.5	○
S 40	小嶋	1.5	1.5
S 40	山中	1.5	○
S 40	松島	1.5	1
S 40	斎藤	1.5	○
S 38	安藤	1.5	○
S 38	佐野	1.5	○
S 38	中島	1.5	○
S 38	木村	1.5	1
S 38	倉谷	1.5	○
S 38	山崎	1.5	○
S 38	出	1	1
S 37	原田	1.5	○
S 37	石田	1.5	1
S 37	伊藤	1.5	○
S 37	三沢	1.5	○
S 36	原田	1.5	1
S 36	土肥	1.5	○
S 36	足立	1.5	○
S 36	吉田	1.5	○
S 36	鈴木	1.5	○
S 36	原	1	○
S 35	大野	1.5	○
S 35	山田	1.5	○
S 34	岡村	1.5	○
S 34	並木	2	1
S 34	大河内	1.5	○
S 34	関根	1	○
S 34	山品	1	○
S 33	加藤	1.5	1
S 33	斎藤	1.5	○
S 32	武村	1.5	1
S 32	天神	1.5	○
S 32	中田	1.5	1
S 32	山崎	1.5	○
S 31	杉山	1.5	○
S 31	舟岡	1.5	2
S 31	日色	1.5	1
S 31	峯田	1.5	○
S 31	安井	1.5	○
S 30	千葉	1.5	1
S 30	松本	1.5	○
S 30	高島	1.5	○
S 30	遊佐	1.5	1
S 30	濱田	1.5	1
S 30	鈴木	1	○
S 29	金澤	1.5	1
S 29	石川	1.5	1
S 29	米田秀	1.5	○
S 29	米田晴	1.5	○
S 29	位田	1.5	○
S 29	安藤	1.5	2
S 28	村瀬	1.5	○
S 28	佐伯	1.5	○
S 28	大塚	1.5	○
S 28	石井	1.5	1
S 28	大津	1.5	○
S 27	木本	1.5	○
S 27	古川	1.5	○
S 26	漆原	1.5	○
S 26	渡辺	1.5	1
S 26	秋山	1.5	○
S 26	上田	1.5	○
S 26	小俣	1.5	○
S 25	伊井	1.5	○
S 23	林	1.5	○
S 22	久留島	1.5	○
S 22	清水	1.5	○
S 21	林	1.5	○
S 20	坪田	1.5	○
S 19	金子	1.5	○
S 18	田窪	1	○
S 16	堀江	1.5	○
S 16	大森	1.5	○
S 16	石川	1.5	○
S 15	田原	1.5	○
S 15	永元	1.5	○
S 14	新名	1.5	○
S 14	山田	1.5	○
S 14	阪原	1.5	○
S 14	増井	1.5	○
S 13	藤村	1.5	○

計 451万円
(97年9月現在)

その他の寄付
安藤一夫氏より
ゴムボート(50万円相当)
○印は自動振替の会員

秋の集い'97のお知らせ

全日本インカレも終わる時期に、みなさんで1997年のシーズンを振り返り、労ったり、反省したり、今後の方向を相談できたら、と思っております。

ヨット部の優勝祝賀会になるか、残念会になるか…。現役・OBを越えて、ざっくばらんにお集まりいただければ幸いです。

来年の夏、早稲田印クルーザーのランデブーをする計画や、20世紀を送る日本一周の計画の声も上がっています。また、稲龍2世や実技講習の今後、そして何よりも学生ヨット部の強化について課題が残っています。

みなさんのご参加をお待ちしています。ご同伴歓迎。別送のハガキにて、出欠のご返事をお願いします。

11月15日(土) 14時～17時
永楽倶楽部(赤坂・山王飯店のビル7階)
03-3580-0046
地下鉄南北線溜池山土駅から1分です。
会費 6000円



小澤会長 おめでとう ございます

6月18日は小澤信三郎さんの88才のお誕生日でした。会場のホテルバシフィックのある品川は、今や海も遠くなって見えませんが、昭和初期、早稲田が練習をはじめた思い出の地です。現在、全日本学生ヨット連盟会長でもあります小澤さんは、昨年の秋の全日本インカレでも、毎日湖上に出て指導されるほど、まだまだご健在ぶりを発揮していらっしゃいます。ご夫人の桃代さんもこの日ご同席いただき、OB、来賓の方々など130名が集い、お二人をお祝いました。

遠方からも何人もご参加いただきました。「都の西北」を大合唱するOBの結末の姿に、参加学生たちも感動していました。あまり話に夢中になって、食事が少なくてすみ、インカレ遠征費として約22万円寄付できました。ありがとうございました。

皆さんからの返信メッセージは、小澤さんのお宝として残ります。

この日は、ご夫婦の結婚60周年でもありました。

御出席一覧

- 15 永元作一
- 16 堀 利之助
- 18 田窪夫人
- 19 渡邊 晋
- 21 林 忠治
- 22 小柳敬之
横田 豊
木村一雄
- 23 加藤久直
- 24 湯沢一清
- 25 伊井邦彦
- 26 渡辺禎夫
秋山 昭
- 28 石井幸夫
佐伯浩一
大津丈夫
大塚知明
十亀俊一郎
- 29 石川武男
米田晴二
米田夫人
安藤一夫
- 30 是枝隆克
岩本 誠
千葉栄作
松本富十世
鈴木賢太郎
遊佐喜弘
濱田 裕
浅山登喜雄
- 31 舟岡正、夫人
日色輝幸

- 安井 淳
- 32 武村洋一
- 中田忠雄
山崎達光
- 33 加藤文生
- 34 並木茂士
- 36 原田 弘
土肥丈志
原 章
吉田 秀
- 37 石田晋也
- 伊藤秀利
- 38 中島順二
木村光成
出 基人
倉谷誠一
- 40 大興太郎
千葉右一
木内博太郎
小嶋朋好
松島弘行
斎藤龍雄
- 41 森 昭
斎藤隆昭
滝 良貞
額 義人
岡部夫人
長澤和彦
清水泰治
岡田 健
小濱 剛
石井 哲
- 42 岡戸義一

- 岡戸夫人
- 大原靖弘
- 佐々木肇
- 石合幸彦
- 中村重昭
- 千津井耕造
- 石川光男
- 金刺高雄
- 43 冬至真也
- 44 須藤桂司
- 45 北嶋武夫
- 大矢木一
- 46 原田浩二
藤田 亨
- 48 杉井謙治
- 49 三塚正文
早川 真
- 51 大嶋徳次郎
- 53 大原義昭
- 56 橋 滋大
- 59 小野芳夫
小田昌一
市井久也
- 62 松下益暢
- 63 鈴木光宏
- 1 川原康嗣
- 特別
近江部長
小松一憲
津田信一
田古島浩
棚町三郎
古屋誠一郎

- 石井左吉
- 河本文彦
- 岡本 豊
- 荒居達雄

学連

- グラチアーノ
- 杉山嘉尚
- 斎藤 涉
- 松田菊夫
- 宮内彰夫
- 宮内夫人
- 田中一光
- 高田幸男
- 前田たまえ
- 渡邊整一

協会

- 米沢 一
- 名取正精
- 清水 昭
- 藤沢誠一
- 大庭秀夫
- 倭千鶴子
- 宮田三和子
- 山本房生
- 和田欣之助
- 平田克己

都連

- 佐藤精知夫
- 青淵隆督

A級ディンギー優勝!

12ノイートA級ディンギー。昭和47年まで学連公式艇だったが、FRP艇が広く普及し影が薄くなっていたところ、どっこい! 石井章夫OB以下が保存会を結成し、三戸浜の合宿所の庭の隅にあった古艇を修理して走らせたのが復興のきっかけ。

まず、日大・明治の三大学OBに声をかけてレースをはじめると、オールドヨットマンの熱は燃え上がり、年々参加チームが増える一方で、とうとう今年は7月25~27日、速く北海道函館で第7回全日本選手権が挙行された。参加艇は全国から21隻。(立教3、同志社2を含む)集まった160人の各大学OBは、それぞれ大事に保存してのであろう。また、近年このレースを目指してオランダから輸入したチームもあり、新艇建造も増えている。早稲田は常に「1号艇」。



貴婦人の微笑み ~A級ディンギー IN 函館



快晴、南東の風、2~6メートル、絶好のコンディション。快走、快走、また快走。皆が愛する「貴婦人の微笑み、A級ディンギー」が緑の島を背景に函館湾内を乱舞した。レセプションには市長も出席、ミス函館が花を添えた。

9レースを終え、早稲田優勝、最高殊勲選手、武藤忠(S47)。
順位 早稲田、九大帆友会、浜帆クラブ、阪大OB会、立教A

参加者 石井、河村(S28) 岩本、千葉(S30)
舟岡(S31) 加藤(S33) 大(S40)
滝(S41) 武藤(S47) 渡辺(S53)

尚、この大会では艇の輸送費も参加者の皆さんが自己負担しています。また、来年は慶応が当番で7月初旬に葉山で行われます。

我がA級ディンギーは八景島で練習しています。皆様のご参加をお待ちしています。懐かしい波の音を楽しんでください。(A級ディンギーを保存する会)

四大学OBヨットレース

～早稲田二連覇～

第26回四大学OBヨットレースは、10月4日、5日の両日、蒲郡のニッポンチャレンジ・ベースキャンプで行われました。(早稲田が当番校)

4日は雨でしたが、蒲郡荘全館を借り切り、68名が参加するなか、前夜祭は大変盛り上がりしました。特に、前回のリンアイエゴのアメリカズ・カップのビデオが流れると、皆もう大レースに参加の気分…。

5日は快晴。西北西5～7メートルの風の中「ヤマハ23」に乗り込んだ勇者たちは、4レースを無事、なし、結果は早稲田が快勝。実のところロートルが足を引っ張ったのですが、山内OBほか地元の諸君が頑張ってくれました。これで昨年の西宮大会に続いて二連覇です。

ニッポンチャレンジ・ベースキャンプを初めて訪れた人も多く、現地のスタッフのご協力もあり、関西学院、同志社、慶應義塾、各チームにも満足していただきました。記念品のTシャツも好評で、まずは大成功でした。来年は同志社の当番で琵琶湖開催の予定です。

石井章大、金沢健、石川武男、安藤 大、米田晴二、浜田 裕、武村洋一、吉田秀、石合幸彦、金刺高雄、山内憲治、大島徳次郎、喜多内悦郎、田中年彦、杉野弘明、東野 通、計16名の参加。

十大学OBヨットレースは連覇ならず

昨年、早稲田が参加15チームのなか優勝したこのOBインカレは、本年度も長野県ヨット連盟のお世話で、6月14～15日諏訪湖で行われました。

早稲田は連覇目指して走りましたが、他がもっともっと走って5位。今年は日大OBが優勝しました。

参加者は、若い順に、

中島、原田の平成組、佐々木、岡戸、石合、浜田、千葉、松本、石井章、加藤久、堀江。

来年も、諏訪湖で6月中旬の予定です。昭和後期OBの同期会を兼ねて、どうぞ遠征してください。

☆シニア月例懇親会のおしらせ☆

早稲田ヨット部オールドボーイズの懇親の会を、下記の要領で企画しました。お仲間をお誘いの上、ご参加ください。(年齢制限なし)

お互い、楽しみましょう。

(開催日) 11月11日(火) 16:00～
12月 9日(火) 16:00～
1月 6日(火) 16:00～

(時間) 何時に来て何時に帰っても良い、「集散自由制フレックス」とします。小部屋を予約してあります。この日はヨット仲間がいる日なのです。

(場所) 永楽倶楽部(赤坂・山王飯店のビル7階)

03-3580-0046

地下鉄南北線溜池山王駅から徒歩1分です。

(会費) 1000円。毎月の幹事に支払う。

飲食費は個人別に精算。

幹事 米田晴二 045-845-9373

浜田 裕 0426-44-8261

○田窪三郎さんのこと(97.7.6永眠 78歳)

タクボさんはshyな人であった。それでいて頑固な人でもあった。

ヨットがこよなく好きであった。しかし、自分自身の打ち込み方があるらしくて、決してざわざわしないところがあった。

もう5年程前になるが、東京若洲のヨット訓練所で初心者指導をしていたときも、昔ながらのヨットの服装であった。

「今の若い人は、とって格好がいいんだよ。教えている方が一番みすばらしいんだよ」……と静かに笑っていたのを思い出す。

「年とった浦島太郎が、乙姫様に教えるようなもんですね」

教わっているのが女性かどうかわからなかったが、なにかそんな感じだった。

戦後のあの貧しい時代、日本全体が食うや食わずのご時世に、大きなヨットを造ろうと、言うだけではなくはじめてしまった早稲田の当時のOBたちは、一種の虚脱感を埋めようとしたのでしたのであるだろうか。会社の給料が遅配までした世の中で、なかには失業状態の人がいたのだが、皆で憑かれたようにハヤカゼー、ハヤカゼー、と言い歩いていただろう。当時の30～40歳前半の人たちのことは、今のその年代には想像つかないだろう。なにせ、命が助かって帰って来たばかりなのだから。

タクボさんもそんな一人だったのだろう。隅田川造船所で建造されつつある新艇の木肌を撫でていたのを当時の学生たちは憶えている。

ジュニア対象のヨット指導は、彼の生き甲斐だったかもしれない。しかし、いつも静かだった。OBたちの技術面のことについても、気がつくとな静かに教えた。決して妥協はしなかった。

早稲田ヨット部50周年のパーティのアルバムのなかに、数少ない彼の写真を見つけた。堀利之助さん(S16)らと話しているが、やはりshyである。

(米田晴二)



右端が田窪さん

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

会員死去 石川雄太郎(S16) 97.4.26

田窪三郎(S18) 97.7.6